



TITLE:

夏期時制是非 (時の記念號)

AUTHOR(S):

CITATION:

夏期時制是非 (時の記念號). 天界 1932, 12(134): 223-226

ISSUE DATE:

1932-05-25

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/161975>

RIGHT:

夏期時制是非

春から秋にかけて歐米では例の「サンマ・タイム」を今年も去る四月十六日から行つてゐます。つまり、この期間だけ時計の針を一時間早め日光を節約しようといふので、従つて「サンマ・タイム」実施の期間中各國と日本との時差は一時間短縮されるわけです。「サンマ・タイム」は歐洲大戰が初まつてあらゆる消費部門に極度の節約を余儀なくされた結果、大戰第二年目に歐洲の殆どすべての國が實施したのですが、しかし、もとはといへば一九〇七年ごろ英國のウィリアム・ウィレット William Willett 氏によつて唱へられたもので、同氏の主張は

文明人は氣まゝに朝は一時間乃至二時間も遅く起き、夏の短い夜はおそくまで戶外で暮してゐる、これは自然の意思の冒瀆であつて、能率を高めるゆゑんでない、もつと早寝早起をするために時計の針を二時間だけ進めよ。それには、日曜毎に時計の針を20分づつ、六回の日曜にわたつて、進めよ。

といふにあつたのです。しかし、二時間の變りは餘りに激しいといふ議論が多かつたので、ニウファウンドランドのアンダソン John Anderson といふ人が、ウィレット氏を説いて、遂に「一時間だけ」といふことに改論させたのでした。

そして、一九一六年、遂に氏の運動が功を奏し、イギリス政府は燃料節約のために、このサンマ・タイム案を採用することに決し、同年五月廿一日から最初のサンマ・タイムを實施しました。勿論これに對しては反對がおこり殊に、農村からの反對——たとへば

牛乳搾りは一時間早く起きねばならぬが、かくすれば牛の乳の出も悪からうし、また人は一年中暗い間に起きねばならぬといふ慘めな目を見る、また穀物の刈取者は一時間早くおきても露が乾ききるまでは仕事ができないから結局一時間何もしないでゐなければならぬ……等々

これらの反對はサンマ・タイムの實施とともに解決され、戦後の一九二五年に永久的制度として四月の第三土曜から十月の第一土曜までを毎年サンマ・

タイムの期間と定めるに至つたのでした。米國では此の方法が實行されるについて、National Daylight Saving Association（國內日光節約協會）といふものが、1917年にニューヨーク市のマークス Marcus M. Marks といふ人の首唱によつて組織され、宣傳につとめました。今日では態々宣傳の必要が無いほど普及し、今年は米國內の十五州が之れを實行することになりました。今、英國ロンドン市にはサンマ・タイムの創始者ウイレトを紀念するため、銅像が立つてゐますが、ウイレトの原案を改良したアンダソンの紀念物は立てられてゐませんし、マークスの事は既に忘れられかけてゐます。

現今、全世界でサムマ・タイムを用ゐてゐるのは、英、佛、白、蘭、メキシコ、米（一部）、ブラジル、チリ、アルヘンチナの諸國です。伊國では、ムソリーニ首相は賛成らしいですが、未だ實行してはゐません。勿論、各國各地に反對者も多くあります。反對論者の中には「時は神が定めたものだ。人間がみだりに變へてはならない」といふ手厳しいものもあります。各國ともに、理屈をぬきにして、農業者は皆反對者です。さて日本では從來から學校や官廳では夏の始業時間を早め、終業時間も早くきりあげるることによつて、サンマ・タイム實施と同様の効果をあけてゐますが、しかし、銀行、會社などでは外部との交渉のためさういふわけにはゆかず、夏の就業時間が、各社會を通じてマチマチなのです。かゝる状態はこのまゝにしておいていゝものか、それとも外國流のサンマ・タイムを實施したものでせうか？ この問題に關して各方面の實際家の意見をきいて見ました、

文部大臣 鳩山一郎氏

私は田中内閣の書記官長時代に、何かの本でサンマ・タイムのことを知り、日本でも實施したらどうかと考へ、つぎの次官會議へ僕から提議したものです。すると、皆もそれはよい事で、一つ調べて見てはといふ事になり、まづ鐵道方面の調査を初めようといふ段になつて内閣がつぶれたため自然消滅に終つたことがありました。サンマ・タイムを實施するとして、一番簡單なのは學校ですが、やるからには各方面とも連絡をとつて行きたい。

理學博士 山本一清氏

吾々が平生用ゐてゐる時刻なるものは、天文臺での天體觀測によつて定められるもので、大宇宙の運行に即したものです。之れを些々たる人生の日常生活の僅かな便不便によつて變更することは、時制の權威のために養成し得られません。さうでなくてさへ、吾が國では一般民衆がとかく時間を守らず之れを輕視する傾きがありまして、「時の紀念日」なども、全く此の幣を除かんがために定められたものです。若し一年に二度づつも、人が勝手に時計の針を歪めることを實行するとせば、世人は益々「時」を尊重する習慣を失ひ、「時」は人世の單なる約束だと輕視して了つて、生活は愈々混亂しませう。更に又、吾が日本では學校や諸官廳で夏と冬とにより勤務時間を現に變へてゐます。（西洋人は其れをやりません。）従つて吾が國では此の點から見てもサンマ・タイムの必要は無いのです。アメリカあたりではサンマ・タイムを採用してゐる州と、してゐない州とがあつて、旅行者に甚だしい不便を與へて居ます。それで全米國の鐵道會社はサンマ・タイムを實行してゐません。

實業家 飯島幡司氏

純理論はとに角、日本の現状として、私はサンマ・タイムの實行に賛成で、大した弊害のないサンマ・タイムを採用して國民の心に刺激を與へることだけでも確かによいことだと思ひます。たゞ農村は新曆の今日もなほ舊曆を生活の標準としてゐるのにみても、サンマ・タイムを採用しても舊來の時間を實際にかへることは困難でせう。

横濱正金銀行大阪支店長 矢野勸治氏

近來、日本の各方面でも時間が正確に守られるやうになり、銀行會社の如きも夏だけ勤務時間をかへるわけにはいかない状態にあるのです。現に夏だけ勤務時間の違ふ役所などは一般國民生活に非常に不便に感じられて來てゐるのです。今日の社會状態からすればぜひとも各社會を通じ四季を通じて一定の時間に統一する必要があり、そこでサンマ・タイムの採用が必要となつて來るのです。たゞし、日本は緯度の關係上イギリスほど季節的に時間の差

がないのですが、日本とほぼ同緯度にあるイタリアでさへサンマ・タイムを實行してゐる以上、日本でやる必要はないと理由はないと思ひます。

醫學博士 戸田正三氏

イギリスは北緯五一度から五三度、パリは四八度五〇分、ベルリン五二度三〇分、日本と比較すれば皆樺太と同じやうな緯度にあたります。つまりあとの半年は寢て暮せといふ國で、冬は夜が大部分だから夜更しをし、その癖が春になつてもなほらない、これでは不經濟だといふので、春からは早く起きて日光を利用しろといふのが、サンマ・タイムが唱へられたもとなつてゐるのです。

日本は夏は晝寢をしなければならないほどの國ですからそんな心配はない、都會生活が烈しくなつて夜を更かし、朝寢がはげしくなればのことですが、現在からいへば經濟上からも衛生上からもそんな必要はみつめられません。

醫學博士 佐多愛彦氏

醫師の方からいつても、天候の變化に伴つて早起きをすることはいいことです、しかしあれは大體が、戰爭中、乃至、戦後の緊張時代の產物ですから、その戦時氣分を無批判に今日まで延長させることは余ほど考へものです。それに今日は世界的に生産過剰、消費不振、失業時代ですから、私自身としては直に賛成しかねます。

農學博士 橋本傳左衛門氏

夜間における娛樂や遊興に耽溺する機會のない農民には何等意義のないことです。かへつて日常生活にすくなかつらず不便が起つたり、短所ばかりあつて時間や燈火の節約にはなりません。

時間の節約には、農村では、むしろ時間の勵行が必要です。根本を改めずに時計の針でつじつまを合せるといふのは文明の弊害といはねばなりません。